

※のところのセリフは同時に

登場人物

レリィ

アルメリア

ゼネット

ステラクト

R

舞台となるのは、どことも知れぬRの探偵事務所のオフィス。
古めかしい家具やインテリアが並んでいる。
一段高くなった後方のスペース

中央にはオーク材のようなアンティーク調のRのデスク。
何冊かの古めかしい本と、デスクライト、何かの化石や、
スコッチ、葉巻ケースなども見える。
座り心地のよさそうな椅子の傍らに、帽子掛けが佇んでいる。

壁はゴシック様式の煉瓦壁と産業革命時代を思わせるブロンズのバルブや
配管が入り混じっている。
一見意味もなく見えるほど配置されたメーターと、
正しい時間を示しているのかさえ分からない無数の時計。

Rのデスクを中央後ろに配置して、上手には大量の本が納められた本棚と、

何かを測定する為のような機械が並んでいる。
ビーカーのようなものや、何かの標本、設計図のようなものも見える。
魔方陣やカバラ図に、数式が書き込まれた図番。何やらの武器が並んでいる。

下手側には生き物のような樹木と草木がうごめくように並べられている。
一見怪しげな森の様相だが、熊やウサギのぬいぐるみがぶら下がっていたり、
風船がくくりつけられていたり、デコレーションを間違えたクリスマスツリー
のようにも見える。洋服が飾られているが、顔の部分に誰かの顔写真があって、
そこにダーツの矢が何本か刺さっていたりする。

一段下がった部分には上下に二脚の机が配置されている。
下手側前の机には古いタイプライターにモニターが付いたような端末
真空管のような機械と、書き込みの入ったレントゲン写真。
並べられた古い工具と、不思議な人形で代用されたチェス。

上手側前の机は簡易的なバーカウンターのようにになっている。
鮮やかな酒瓶が並んでいて、タロットカードや貴石の類が無造作に置かれている。
世界中の紙幣やコインが、これまた無造作に置かれている。
幾つかの写真が白黒、銀塩、カラーが入り混じって飾られている。
時代も場所も違うはずだが、写っているのは同じ人物。
古いサーカスのポスター、レコードのポスター、たまごっち、
ヨーヨーなどが配置されている。

一段低いエリアの左右に客席が、中央には何も無いスペースが。
そこに、



と照らされている。

暗闇の舞台に、回転する歯車。歯車は変容し光の魔方陣が現れる。
魔術を唱える声、機械のカウントを行う声、様々な歴史のニュースを語る声。
重なって広がっていく。

テロップ「ある事件が起きた—— 1866. 07. 55」

この後の声達の「」内の言葉は、
何らかの形でテキストとして観客に提示されます。

声 1 今回の「案件」はかなり厄介だ
声 2 「人間」が行ったとは思えない。
声 3 「高等魔術院」への報告は？
声 4 完了しています。まもなく「サマルカンド」も動き出します。
声 5 「サマルカンド」…「航時局時空管理本部」が？
声 6 都合が悪くなったらまた、「歴史」の「改編」か
声 7 「クレドリアの研究所」から「リアンジウム元素」の痕跡が見つかったと
声 8 どう解決する？
声 9 「R」を使いましょう。
声 1 R…伝説の「万能探偵」か
声 9 左様、「世界最高」にして「最強」の万能探偵「R・B・ロケットマン」を
声 2 「幽霊」のような存在に、「世界」の「選択」を委ねるのか
声 3 心配ない。「R」に解けない「謎」は無い

オープニングのダンス。

家具や壁の輪郭が光り、ワイヤーフレームのような世界に。

ダンスが終わって、四人は自分の所定の場所へ。

ゼネット 事件が起きたのはタンクラフトの森の奥、北東の切り立った崖の際。
アルメリア 現場は永久凍土で覆われた氷点下八度の雪山。被害者は6人。
崖から七〇リーバ離れた場所に宿泊用のテントを設置して、
そのテントが内側から引き裂かれた状態で発見される。
ゼネット 被害者は全員裸足で発見されていて、6人の内二人は…
レリィ 待つて待つて待つて
ゼネット ※ 何？
アルメリア ※ 何か？
レリィ ダンスからのテンションの落差！
ゼネット ※ ああ
アルメリア ※ ああ
レリィ なにを何事もなかったようにしてんの。
ゼネット 話、進まないしねえ
アルメリア 何か問題が？
レリィ 急すぎるでしょうよ。(ステラクトに) 息切れしてるじゃない
ステラクト 全然大丈夫…ゴホゴホ
レリィ どこが！
アルメリア ダンスの後にいちいち休んでいたら、非効率ですから

レリィ だったらやんなきゃいいじゃん
ゼネット うちの事務所の方針なんだからしょうがないじゃない
ステラクト R探偵事務所の一日はダンスで始まる
レリィ 毎朝疲れる
アルメリア 会社とかで、朝の始業時間にやるでしょう？
レリィ 何を？
アルメリア ラジオ体操
レリィ （ゼネットに）そうなの？
ゼネット 会社によっては
レリィ はあ
アルメリア 要はそれです
レリィ あんなにアグレッシブじゃない！
アルメリア ラジオ体操は「ラジオ」から流れる曲で「体操」するんですから、
 今日ラジオから流れたのがあの曲だったんです
レリィ …体操とわ…！
ゼネット あ、チャンネルいつもと違う
レリィ ほらあ！やっぱりちゃん！ 朝イチからあんなに激しい運動とかムリ～！
 っていうか、踊った後「すんっ」って仕事に入るのとかキモイ～！皆～！
 ねえ、（ゼネットに）アルメリアもそう思うよねえ？
ゼネット だから、私はゼネット！
アルメリア アルメリアは私です。いい加減に覚えてください。
レリィ いっけな—い。わざとだッ！ねえステラ！ステラ！もう一回やり直してよお
 お願いお願いお願い！
ステラクト わかったわよ。もう…（何かのモーション）

暗転し時間が巻き戻る。

声1 今回の「案件」はかなり厄介だ
声2 「人間」が行ったとは思えない。
声3 「高等魔術院」への報告は？
声4 完了しています。まもなく「サマルカンド」も動き出します。
声5 「サマルカンド」…「航時局時空管理本部」が？
声6 都合が悪くなったらまた、「歴史」の「改編」か
声7 「クレドリアの研究所」から「リアンジウム元素」の痕跡が見つかったと
声8 どう解決する？
声9 「R」を使いましょう。
声1 R…伝説の「万能探偵」か
声9 左様、「世界最高」にして「最強」の万能探偵「R・B・ロケットマン」を

声2 「幽霊」のような存在に、「世界」の「選択」を委ねるのか
声3 心配ない。「R」に解けない「謎」は無い

ラジオ体操が流れ、キレッキレに体操する四人。
体操終わり。

ゼネット 事件が起きたのはタンクラフトの森の奥、北東の切り立った崖の際。
アルメリア 現場は永久凍土で覆われた氷点下八度の雪山。

レリィ だからそうじゃなくて！

ステラクト 何なのよ

レリィ 何ですぐに「すんっ」って仕事に入るのよ

アルメリア 準備体操は終わりました

レリィ 区切りが欲しいの区切りが！あるでしょう！

コーヒー飲んだりお手洗い行ったり、メイク直したり。

ゼネット 無駄の極みね。

レリィ いきなり「すんっ」て仕事に入るのが嫌なの！

レリィ以外 ホイツ！（と声を出して仕事に戻る）

レリィ そういう事じゃない！ホイツって何よ？

レリィ以外 ヘイツ！（と声に出して仕事に戻る）

レリィ 言い方変えろって事じゃないの！

ねえ、会話が無いよ！もっと会話しながら何となく仕事に入ろうよー

ゼネット （アルメリアに）ホイツ

アルメリア ヘイツ。（ステラクトに）ホイツ

ステラクト ヘイツ。（ゼネットに）ホーイ。

ゼネット ヘーイ。ホイ。

というキャッチボールを三人は続ける。

レリィ バカにしてんのかああ！

レリィ以外 ……………（仕事に戻る）

レリィ なんかに言ってよ！…ねえ、会話が無いよお。

もっとわちゃわちゃ話しながら、しれっと仕事はじめようよお！

「昨日のテレビ見たあ？」「見た見たあ！カブトガニって超イケメンだよね〜」

「わかるう！」とかさあ！

ステラクト うるさい。

レリィ 「あーあ、今日ノドの調子悪ーい」「カラオケ？」

「うん。新発売のお、キノコの山ハバネロ風味試したのお（取り出す）」

ステラクト （ガタッと立ち上がる）それ！おいし（いよね）…！（我に返る）。

レリィ …い、今！…今なんか…！
ステラクト 気にしないで。
レリィ ねえ！ステラ！もう一回！もう一回！（ステラクトにすがる）。
ステラクト だめ。
レリィ いいちゃん。減るもんじゃなし。
ステラクト あのね。時間っていうのは薄い紙キレに書いた文章みたいなもんなの。
それを修正するってことは、消しゴムをかけて書き直すようなもん。
同じ場所を何度もこすったらどうなる？
破れちゃうでしょ？ それに…
レリィ それに？
ステラクト 単純に疲れる。
レリィ いいちゃん、ケチ！
ステラクト ガキはこれだから。
レリィ 何よお！このあたしが頼んでるのに。
ステラクト 頼む態度じゃないでしょう。
レリィ 私のお願い聞けるなんてありがたいと思いなさい。
ステラクト 何ですってアンタ。
レリィ なによ！

詰め寄る二人。
そこに、ゼネットが無骨な銃のような武器を向ける。
武器は、起動の音を響かせる。

ゼネット …仲良くしなさい。

レリィとステラクトはニッコリ笑って握手。
キノコの山の食べさせっことかをする。
時間が来たことを示す鐘の音が重々しく響く

アルメリア 皆さん。Rの稼働が許可されました。ご準備を。

全員所定の位置に着く。一同に緊張が走る。

アルメリアは機械が見え隠れする右手を変形させて、端末に接続する。
床のRマークの点灯、空中の表示が浮かぶ

アルメリア 論理の壁を越え、思考の英知を！

アルメリアの席から、デスクに向かって光の筋が走る。
ゼネットは、怪しげな機械を起動させる

ゼネット 神は死んだ。科学こそが真理！

ゼネットの席から、デスクに向かって光の筋が走る。

レリィ 闇夜にさ迷う混沌よ、赤き炎の叫びとなれ。
今、汝に魔術の深淵を与えん！

レリィは杖のようなものを振りかざして床を突く。
レリィの席からデスクへ光の筋が走る。

ステラクト 時をめぐる回廊から、因果の扉を！

ステラクトが何かのモーションをすると。時計の音。
ステラクトの席からデスクへ光の筋が走る。

四人 始動せよ。万能探偵…

そこまで言ったところで、アルメリアが突然動きを止める。
アルメリアからの光の筋も消える。

レリィ あれ？

ステラクト レリィ！

レリィ あたしじゃないわよ！

ゼネット あ！

ゼネットはアルメリアの元へ行く。工具類の中から大きなネジを取り出して、
アルメリアの背中に刺してキリキリと巻く。

アルメリア （復活）あ…失礼しました。

ゼネット よし（元の位置へ）

アルメリアの光も復活する。

四人 始動せよ。万能探偵R！

Rが登場する。そのままデスクへ向かう。

Rはデスクの椅子に腰かけ、後ろを向いたまま、右手を掲げ一指し指を立てる。

ゼネット 次の方どうぞー
レリィ はい。失礼しまーす！（座る）
ゼネット （即座に）はいじゃあ、注射しますね
レリィ 早い早い早い！
ゼネット 大丈夫。ちょっとザクツとするだけだから
レリィ 怖いよ！注射の音じゃないよ！
ゼネット 心配しないで。ほんの少し、この針の根元しか刺さないから！
レリィ いや全部だよ！ちゃんと診察してよ
ゼネット 瞬殺する？
レリィ 瞬く間に殺さないで！
ゼネット 大丈夫。ちょっとザクツとするだけだから
レリィ 殺意！
ゼネット …じゃあまあ診察しますかね。（カルテ）今日はどうかしてますか？
レリィ ツ…？…どうかしてるのはそっちでしょ。
あのお、昨日からあ、なんだか食欲が無くてえ。
なんだかあ、息苦しいしい。頭もボーっとしててえ。
風邪かもしんなーいって思ってえ…！
ゼネット ……へー
レリィ ……（舌打ち）。なんか心臓もドキドキするしい。まるで、
恋しちゃったときみたいなあ
ゼネット （聞いていない）あー、最近天気悪いですからねえ
レリィ あ、でっもお。きっかけがあったんですよ。
今朝鏡を見たらあ、急に心臓がずっきゅんってなってえ。
だってえ、鏡の中にすごい美少女がいたんですよ。
誰だろうこの子って見とれてたら、いっけなーい。私だあ！って…
ゼネット （カルテをたたき折る）
レリィ ひゃん！先生怖ーい
ゼネット （素で）ねえ、一回！一回でいいから死んでくれない？
ステラクト まあまあ
レリィ （素で）やーだあ。あたしが死んだら宇宙に大ダメージじゃーん！
ステラクト …（ゼネットに）もう一回だけね
レリィ もう一回って何？ …もう一回って何！？
アルメリア そんな腕のいい医者だったレイノルズは…